

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

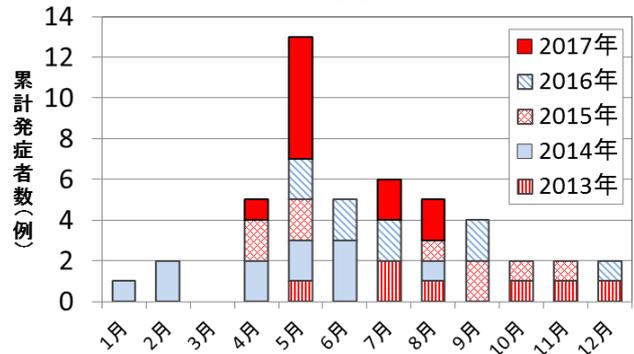
## 宮崎県第33週の発生動向

### □トピックス

#### ・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数報告の感染症）：

宮崎市及び高鍋保健所から1例ずつ報告があった。県内での報告は今年10例目と11例目で、累計47例（平成25年3月届出開始以降）である。患者はいずれも70歳代の女性で、発症は8月上旬及び中旬である。いずれもダニの刺し口は確認できなかったが、1例は衣服にダニの付着があった。また、いずれも海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS月別発症者数（届出開始以降）



県内のSFTS年齢別報告数（届出開始以降）

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	13	17	11	2

### □ 全数報告の感染症（33週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。  
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群2例、レジオネラ症1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			90歳代	男	肺結核	咳、発熱
		都城	80歳代	女	肺結核	発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	0~4歳	女	—	腹痛、血便、O111(VT1、2産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少
		高鍋	70歳代	女	—	発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少、リンパ節腫脹等
	レジオネラ症	延岡	60歳代	男	肺炎型	発熱、腹痛、下痢、肺炎

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は698人（定点当たり21.9）で、前週比76%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

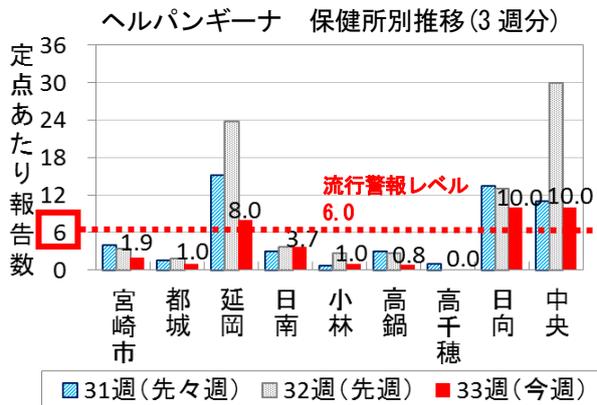
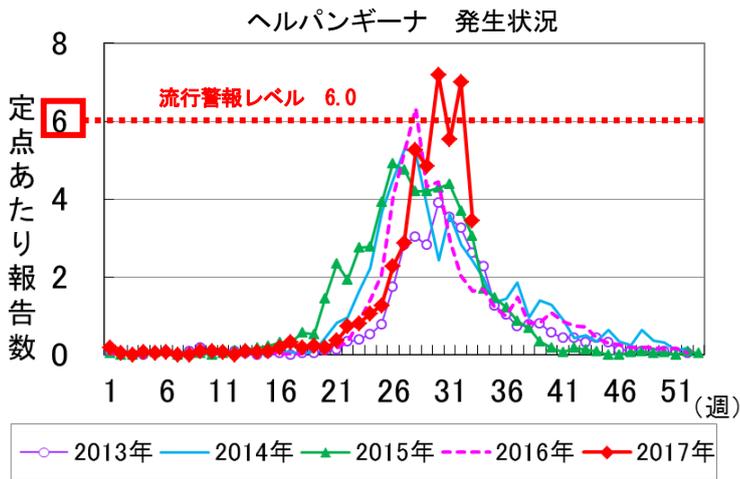
##### 【ヘルパンギーナ】

報告数は124人(3.4)で、前週比49%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(2.7)の約1.3倍である。日向(10.0)、中央(10.0)、延岡(8.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約6割を占めた。

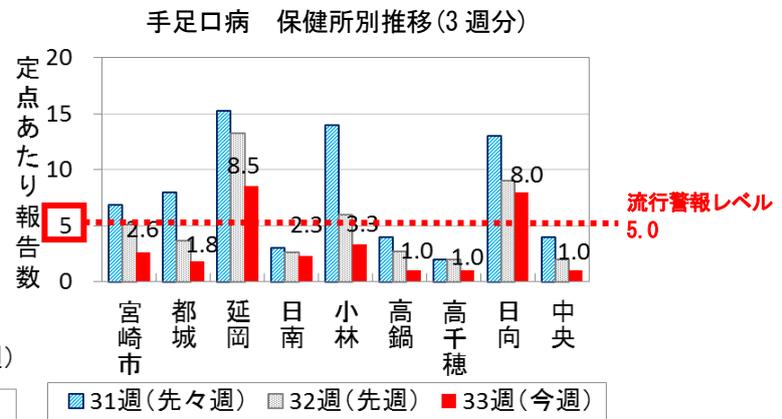
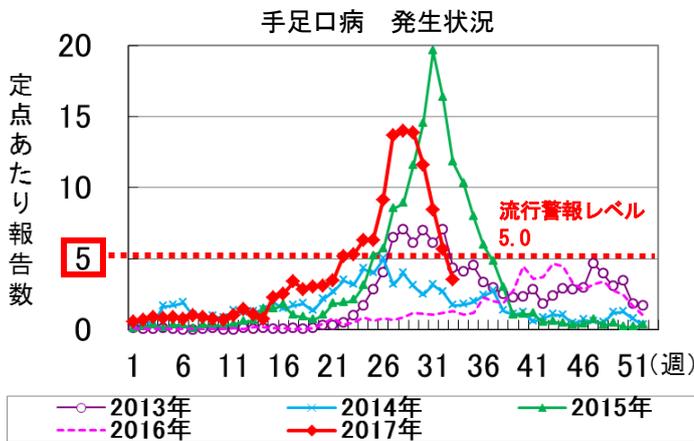
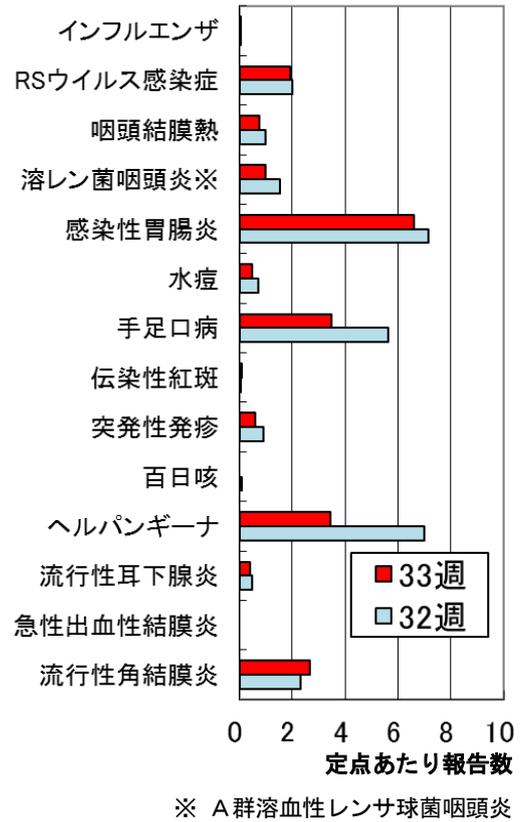
##### 【手足口病】

報告数は126人(3.5)で、前週比62%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\*(4.7)の約0.7倍である。延岡(8.5)、日向(8.0)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月~2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均



### 《前週との比較》



### ★基幹定点からの報告★

- マイコプラズマ肺炎：宮崎市、日向(各1例)保健所から報告があり、5～9歳と10歳代であった。
- クラミジア肺炎：高鍋保健所管内で1例報告された。10歳代であった。

### ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(8.5)、ヘルパンギーナ(8.0)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(8.0)、ヘルパンギーナ(10.0)
中央	ヘルパンギーナ(10.0)

### \* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

## 🇯🇵 全国 2017 年第 32 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 32 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	305 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	228 例	腸チフス	2 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	5 例	ダニ媒介脳炎	1 例	デング熱	8 例
	日本紅斑熱	5 例	マラリア	1 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	35 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘（入院例）	2 例	梅毒	46 例
	破傷風	1 例	風しん	1 例	麻しん	3 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 77%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病である。

RSウイルス感染症の報告数は4,956人(1.7)で前週比106%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.30)の約5.5倍である。福島県(3.7)、愛媛県(3.5)、鳥取県(3.3)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～1歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は21,303人(7.1)で前週比75%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\*(3.6)の約2.0倍である。福井県(16.0)、長野県(15.5)、新潟県(14.6)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第33週(8月14日～8月20日)

疾病名		第32週	第33週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	2		2							
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	72	69	28	13	18	3		4		3	
	定点あたり	2.00	1.92	2.80	2.17	4.50	1.00	0.00	1.00	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	27	6	13	1	6		1			
	定点あたり	0.97	0.75	0.60	2.17	0.25	2.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	55	36	22	2	4	4	1	1		2	
	定点あたり	1.53	1.00	2.20	0.33	1.00	1.33	0.33	0.25	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	258	238	60	44	12	43	29	8	7	30	5
	定点あたり	7.17	6.61	6.00	7.33	3.00	14.33	9.67	2.00	7.00	7.50	5.00
水痘	報告数	26	17	6		6	1	1	2		1	
	定点あたり	0.72	0.47	0.60	0.00	1.50	0.33	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	203	126	26	11	34	7	10	4	1	32	1
	定点あたり	5.64	3.50	2.60	1.83	8.50	2.33	3.33	1.00	1.00	8.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	1	3		1	2						
	定点あたり	0.03	0.08	0.00	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	22	9	2	2	3	2	1		2	1
	定点あたり	0.92	0.61	0.90	0.33	0.50	1.00	0.67	0.25	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	252	124	19	6	32	11	3	3		40	10
	定点あたり	7.00	3.44	1.90	1.00	8.00	3.67	1.00	0.75	0.00	10.00	10.00
流行性耳下腺炎	報告数	17	15		1	5	1	1	1		6	
	定点あたり	0.47	0.42	0.00	0.17	1.25	0.33	0.33	0.25	0.00	1.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	16	11	3	2						
	定点あたり	2.33	2.67	3.67	1.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	2	1							1	
	定点あたり	0.14	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点あたり報告数

\* 第32週の報告数は修正されています。

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～33週)

2類感染症	結核	122例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	11例(2)	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	6例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	13例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	8例	破傷風	4例
	麻しん	1例				

( )内は今週届出分、再掲